Panasonic

災害情報集約ポータル

INDIGO RIVER®

有事の情報混乱を、澄んだ流れに変える。

Powered by Digital

商願2025-41484

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

Panasonic

大規模災害発生時、拠点情報の集約には多大な時間が掛かります

拠点における
被災状況の把握に
時間がかかる

ツールがバラバラで
使い方を忘れる

高額な専用システ
ムは導入が難しい

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

そのお悩み、「INDIGO RIVER」が解決します

Panasonic

INDIGO RIVER®

Microsoft Teams上に、「コミュニケーション」「拠点情報の報告」「拠点情報の共有」の3つの機能を設置。
災害発生時の拠点情報を集約・共有し、意思決定の迅速化を支援します。

コミュニケーション

- 災害に関する会話を集約

000　災害報告アプリ
001　災害報告サマリー
002　災害報告マップ
・
・

グループ全体の連携

011　事業会社1
012　事業会社2
・
・

各組織内の連携

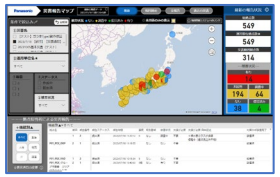
拠点被災情報の集約

- 災害報告アプリ

拠点被災情報の共有

- 災害報告サマリー／マップ

【災害報告マップ】



1　3

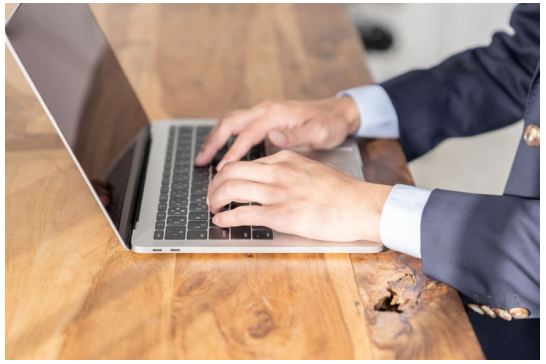
【災害報告サマリー】

2

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

「INDIGO RIVER」の3つの特徴

Panasonic



Microsoft Teams上で完結する災害情報ポータル

- すでにご利用中のTeams上で動作するため、最小限の投資で速やかに利用開始できます

平時から使い慣れたツールで有事にもスムーズに対応

- 有事の際に慣れないツールを使うのは大変。普段から使い慣れたツールで完結するのは大きなメリットです

地図やリストで直感的に状況把握

- 全国の被災状況をマップやリストで直感的に。速やかに状況を一望でき、迅速な経営判断に寄与します

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

こんな場面で活躍します

Panasonic

INDIGO RIVERの導入により災害時の情報集約がスムーズに行えます

災害対策本部での情報集約

拠点ごとの被災状況※報告

復旧進捗の可視化と共有

※拠点ごとの被災情報となります。従業員の安否確認機能はありません

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

INDIGO RIVER誕生の経緯

なぜパナソニックグループがINDIGO RIVERを開発するに至ったか

Powered by Digital

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

東日本大震災当時の災害対策フロー

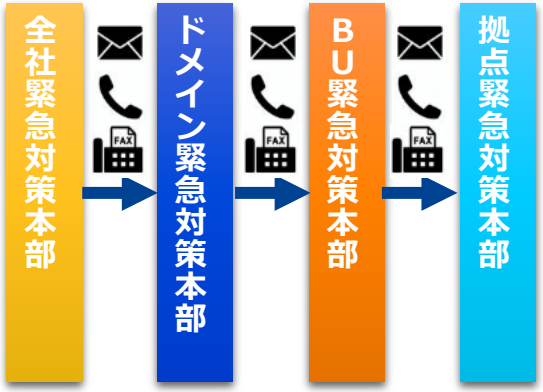
Panasonic

- 資料作成、リレー方式の災害情報の伝達に多大な工数を要し、最新情報の共有が困難

⇒ 意思決定が遅延する可能性
現場への問い合わせや訪問対応により、復旧が遅延・停滞する可能性

コミュニケーション

- メール、電話、ファクスで依頼



災害情報の集約

- メール、電話、ファクスで集約

→ 資料作成
→ メール、電話、ファクスで報告

災害情報の共有

- メール、電話、ファクスで集約

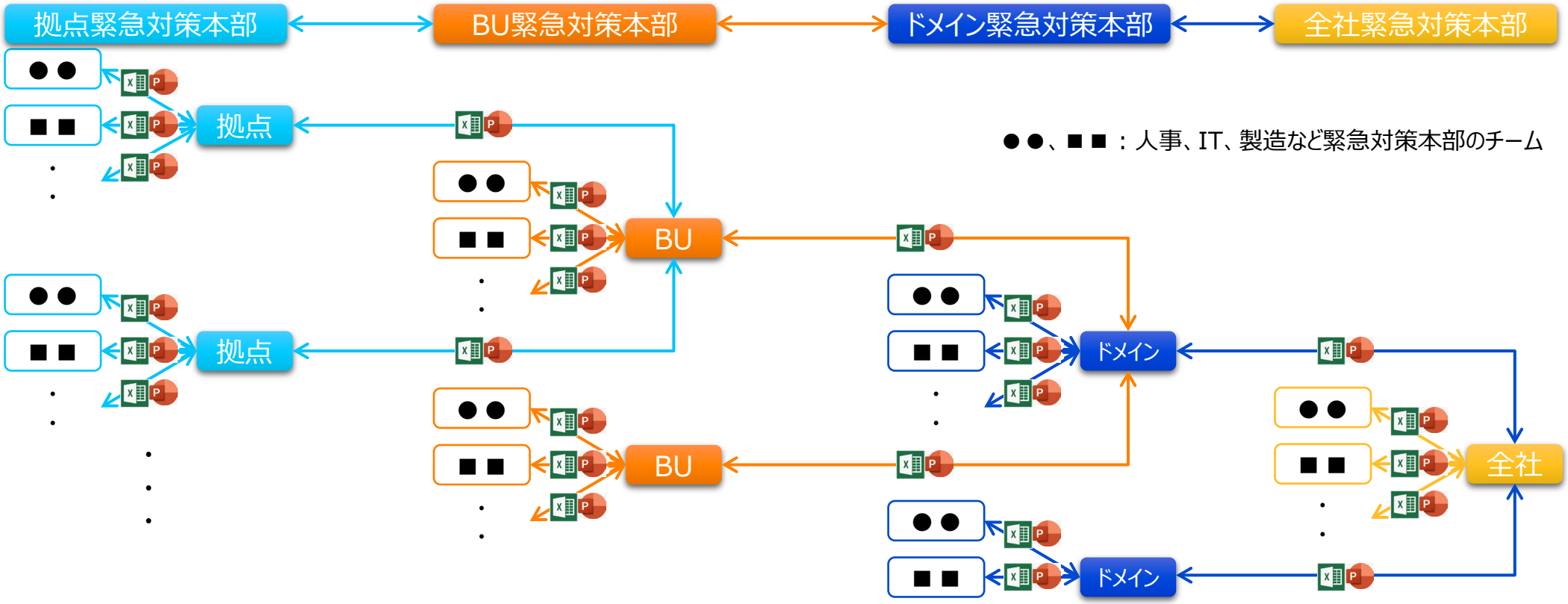
→ 資料作成
→ メール、電話、ファクスで共有

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

東日本大震災時の災害情報の集約・共有

Panasonic

資料作成、リレー方式の災害情報の伝達に多大な工数を要し、最新情報の共有が困難



Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

INDIGO RIVERによる解決

Panasonic

- 最新情報の迅速な共有

⇒ 意思決定を迅速化

⇒ 現場への問い合わせをなくし、復旧を迅速化

迅速な復旧により
生活を再建
災害からの復旧・復興に貢献

コミュニケーション

- Teamsに投稿

災害通知を投稿

災害情報の集約

- 災害報告アプリに入力

拠点レポート
拠点緊急対策本部

中間レポート
中間緊急対策本部

災害情報の共有

- 災害報告サマリー／マップで共有

【災害報告マップ】

1 3

【災害報告サマリー】

2

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

INDIGO RIVERの導入効果

Panasonic

東日本大震災における情報連携の反省から生まれた「INDIGO RIVER」

東日本大震災時

課題

拠点情報の集約に
半日～3日を要する

INDIGO RIVER

導入後

導入効果

拠点の報告内容が
マップやリスト上で
速やかに反映

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

有事の情報混乱を、澄んだ流れに変える。

災害情報の集約ポータル

INDIGO RIVER®

Microsoft Teams上に、「コミュニケーション」「災害情報の報告」「災害情報の共有」の3つの機能を設置。
災害情報を集約・共有し、意思決定の迅速化を支援します。

コミュニケーション

- 災害に関する会話を集約

000　災害報告アプリ
001　災害報告サマリー
002　災害報告マップ

グループ全体の連携

011　事業会社1
012　事業会社2

各組織内の連携

災害情報の集約

- 災害報告アプリ

災害情報の共有

- 災害報告サマリー／マップ

【災害報告マップ】【災害報告サマリー】

「INDIGO RIVER」に込めた思い

災害発生時には、情報が錯綜し、何が正しいのか分かりづらくなります。
そんな混乱の中でも「きれいな川の流れ」のように、澄んだ、正確で信頼できる情報の流れを届けたい、と私たちは考えています。

この想いを込めて、「きれいな川＝青い川」をイメージし、日本の伝統色であり「Japan Blue」とも称され、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでも使用された「藍色（INDIGO）」を用いて、商品名を『INDIGO RIVER』と名付けました。

デモをご覧になりたい、価格を知りたい方は当社営業までお問い合わせください！

ご提供価格

Powered by Digital

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

INDIGO RIVER利用料金（基本プラン）

Panasonic

初期導入費用	**500 万円**※1	
月額利用料	300拠点以下 500ユーザー※2 以下 **30 万円**	301～500拠点 501～1000 ユーザー※2 **50 万円**
標準導入期間	**ご注文後 3 カ月**※3	

基本プランに含まれる内容

基本プランに含まれない、お客様向けカスタマイズも承ります（別途お見積もり）

- 災害発生通知からの自動・手動報告
- 拠点毎の状況報告
- 被災拠点のマップ表示
- 被災拠点のサマリー表示
- 拠点マスター初期設定
- 操作説明会実施
- 初回訓練実施支援

※1 サマリーなど一部機能を制限したライトプランもございます　※2 INDIGO RIVER環境をご利用いただく全ユーザー数のカウントとなります　※3 ご要望のカスタマイズ内容により前後します

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

サービスメニュー（初期導入）

Panasonic

機能	ライト	ベーシック ★パナソニックグループ内と同等機能を備えたおすすめプラン
メニュー概要	拠点数や利用者数が小規模（目安：300拠点、500ユーザー以下）、費用面での懸念がある場合に一部機能、問い合わせ受付回数を抑制したプラン	実績のある社内運用と同等の機能、利用者規模を想定した標準プラン
災害報告依頼発行	災害発生通知から自動報告依頼	災害発生通知から自動報告依頼 手動での個別報告依頼
拠点範囲	設定した基準以上の震度を検知した拠点	設定した基準以上の震度を検知した拠点
災害状況報告	拠点毎の状況報告 事業会社毎の状況報告 (管轄拠点報告の要約、復旧方針、支援要請)	拠点毎の状況報告 事業会社毎の状況報告 (管轄拠点報告の要約、復旧方針、支援要請)
マップ	被災拠点の表示 拠点の被害状況表示 拠点位置関係の表示	被災拠点の表示 拠点の被害状況表示 拠点位置関係の表示
サマリー	–	拠点毎の状況報告一覧 事業会社毎の状況報告一覧 (管轄拠点報告の要約、復旧方針、支援要請)
追加オプション	–	【標準テンプレート外 要望オプション】 ※別途お見積もり
練習環境（練習用アプリ）	–	本番用のアプリの他に、練習/訓練用のアプリ追加（本番と同等仕様）
初期設定	各種マスタ登録	各種マスタ登録
操作説明	災害ポータル操作説明会実施	災害ポータル操作説明会実施
訓練支援	災害ポータル訓練実施	災害ポータル訓練実施
導入費用	例：300万円/件	500万円/件
標準導入期間	3か月	3か月

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

サービスメニュー（月額）

Panasonic

拠点数・ご利用ユーザー数により異なるプランをご用意しております

機能	プランA	プランB	カスタムプラン
拠点数	～300拠点	301～500拠点	別途お見積もり
拠点変更回数	年4回まで	年4回まで	
利用ユーザー数 ※	～500ユーザー	501～1000ユーザー	
QA数	年30件まで	年50件まで	
月額利用料	**30万円/月**	**50万円/月**	

※ユーザー数＝MS Teams上で**INDIGO RIVERにアクセス権を付与し状況報告・状況共有を行うユーザー様の総数**となります

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

ご提供条件

Panasonic

■共通

- 本アプリには、ご利用者に**Microsoft365 E3またはE5、ならびにTeamsライセンス**の付与が必要となります。（詳細は次ページに記載）
- 災害マップにはPower BI Serviceを活用しており、**Microsoft Fabric（F64以上） or Power BI Premium Per Userライセンス**が必要となります。
- また、マップに使用しているAzure Mapが環境のテナント設定で「有効」になっているかのご確認が必要です。
- 本システムで使用する、Teams、Power Apps、Power Automate、Power BIはいずれもSaaSのサービスであり、Microsoftのサーバー環境での利用となります。
- サービスレベルは、Microsoftのサービスに準じます。拠点情報のマップへの反映には最大5～6分程度のタイムラグが生じます。マップはPower Automateからの更新リクエストをとっており、E3/E5環境全体でのリクエスト制限（6,000回/日）を超えた場合、更新できない場合があります。
- システムの導入には、以下ご準備お願いします。

  - 作業兼システム用のアカウントが準備されていること（貴社Teams環境に本アプリを導入する作業）
  - 上記アカウントにPower BI Pro または Power BI Premium Per Userのライセンスが紐づいていること（貴社BI環境へのレポート発行作業）
  - 本アプリ専用で利用するTeamsチームが準備されており、作業兼システムアカウントがTeamsの所有者登録されていること
  - SPOサイトおよびドキュメントライブラリのURL（投稿画像を保存するサイト）

■初期導入費用

- 導入完了月に検収・ご請求となります。
- 成果物：設計書一式、災害ポータルアプリ（お客様環境への導入）、アプリ資料マニュアル

■月額費用

- 別途サービス契約書を締結させていただきます。
- 利用開始月に、ご請求となります。
- 契約は、1年契約となります。
- お支払いに関しては、月額、年額お客様にて選択をお願いいたします。
- Q＆A対応は、メールとなります。 受付:24時間365日 対応時間（弊社営業日）:9:00－17:00

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

ご提供条件（補足：ライセンスについて）

Panasonic

INDIGO RIVERのご利用には、Mocrosoft365 E3あるいはE5のライセンスおよびPowerBIの下記環境・ライセンスが必要となります。

	利用者が大規模向け （目安：500人以上～）	利用者が小規模向け （目安：～500人未満）
Power BI 環境	Microsoft Fabric（F64）	Power BI Premium Per User
レポート参照 情報参照のみ （報告対象の経営者・関係者を想定）	Power BI Free（無償）	Power BI Premium Per User
レポート作成 レポート作成を行う方 （災対担当者を想定）	E3ライセンスお持ちの場合： ⇒ Power BI Proライセンス E5ライセンスお持ちの場合： ⇒ 追加ライセンス付与 （ProライセンスがE5に含まれる）	Power BI Premium Per User

※”E5+Security”は、Power BI Proライセンスが含まれていないのでE3と同じ要件が必要となります
※正確なコスト比較はご利用者様にて確認お願いします。

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

オプションメニュー

※以下に記載のないオプションは別途お見積もりとなります

Powered by Digital

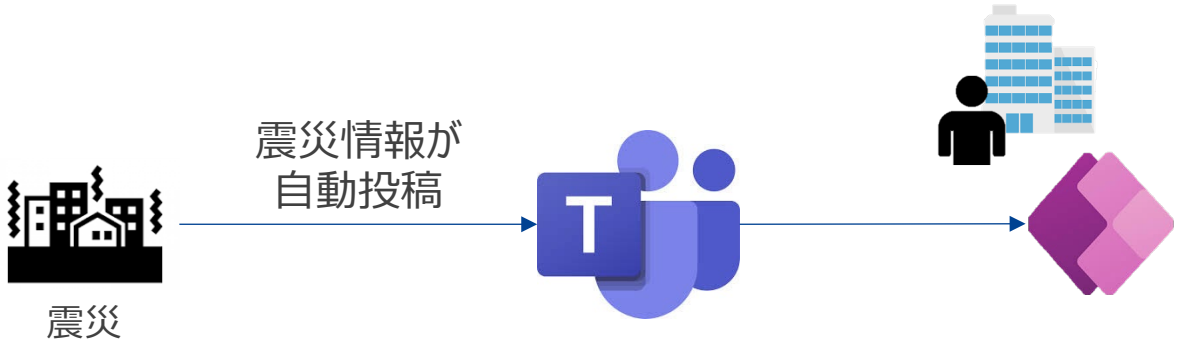
Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

オプション（災害報告アプリからの「自主報告」）

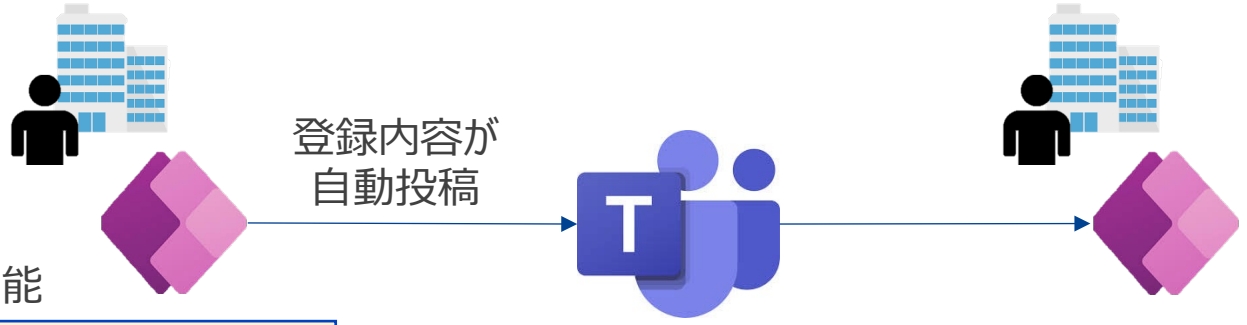
Panasonic

本システムでは、基本設定基準以上の震災（例、震度5強以上）が発生した際にTeamsへ震災情報が投稿され、利用者が被災状況を登録します。
オプション機能により、利用者が震災に関わらず任意で災害登録を行うことができ、震災以外の活用にもお使いいただけます。

基本の流れ



オプション



登録できる内容：
- 災害名
- 災害種別（地震、風水害、津波、その他）
- 詳細
- Teams通知有無
- 通知先、通知時の投稿文

※登録項目は貴社の用途にあわせて、項目を設定することは可能ですが、基本とオプションで被災状況の登録項目を使い分けることはできません。
登録する内容は同じになります。

マニュアル登録機能導入：100万円

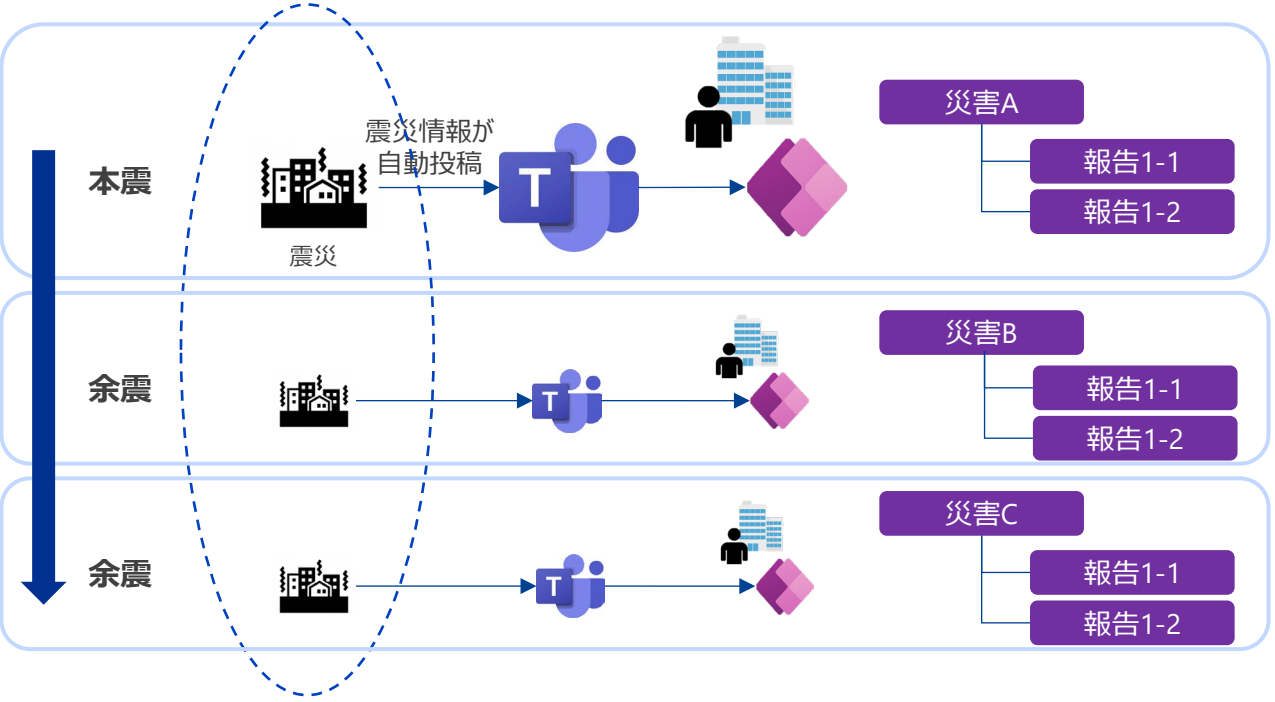
Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

オプション（続報発令アプリ）

Panasonic

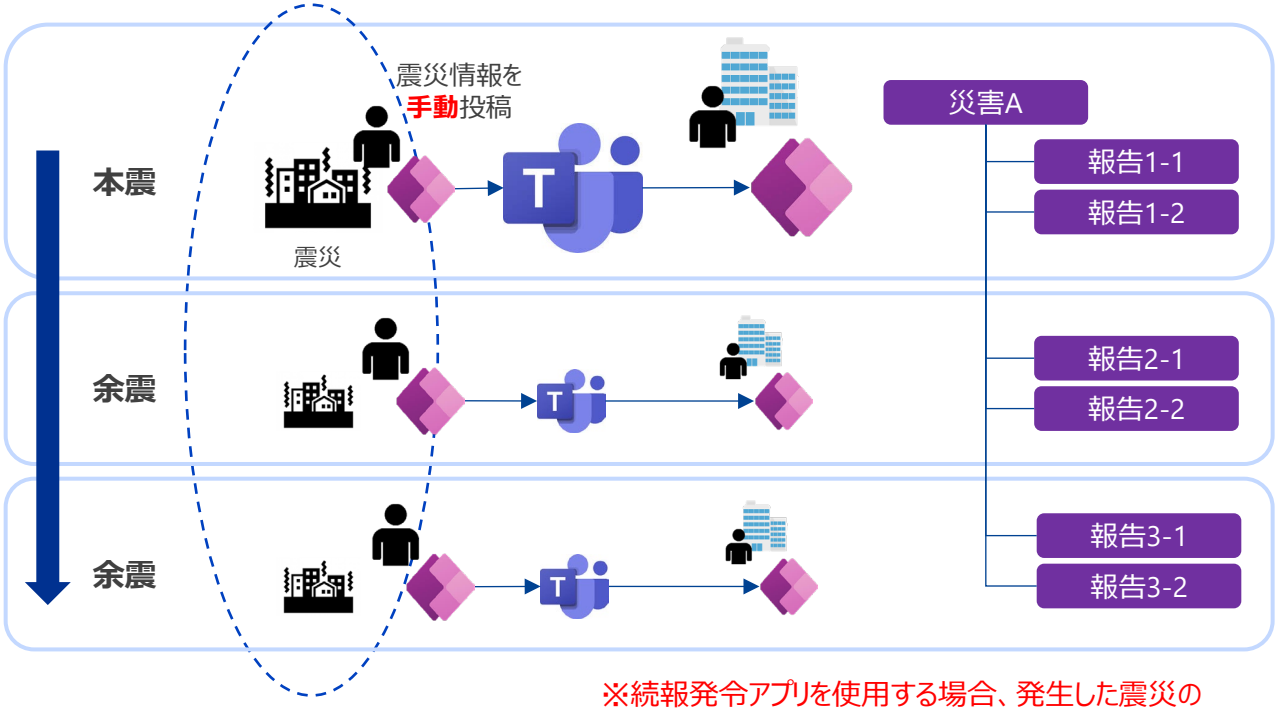
大規模震災等で余震が頻出する際、複数の災害が同時に発生した際、
続報発令アプリを使うことで災害登録及び報告をまとめることができます。

続報発令オプション無し



同一災害

続報発令オプション有り



同一災害

※続報発令アプリを使用する場合、発生した震災の登録や続報発令はマニュアルでの対応となります。

続報発令アプリ導入：100万円

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

災害情報共有コミュニティ「INDIGO RIVER Lab.」

※本コミュニティはINDIGO RIVERご利用者より順次展開拡大いたします

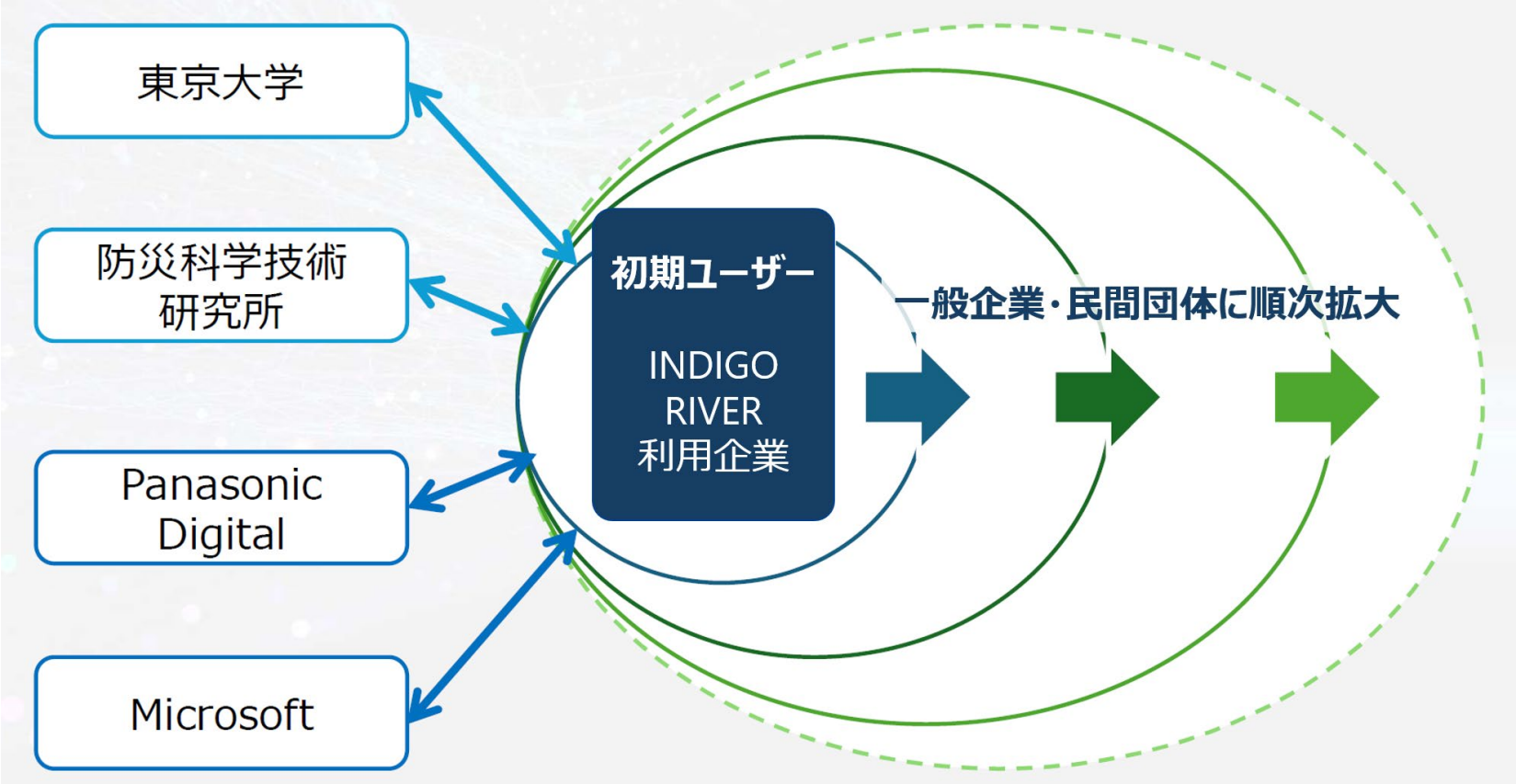
Powered by Digital

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

Panasonic

災害情報の共有と相互扶助を目的にした新しい災対コミュニティ

- 東大と防災科研との共同研究のもと、現在「官(府省庁や自治体)」で活用している**災害対応基本共有情報（EEI）**を「産・学・民」にも拡大



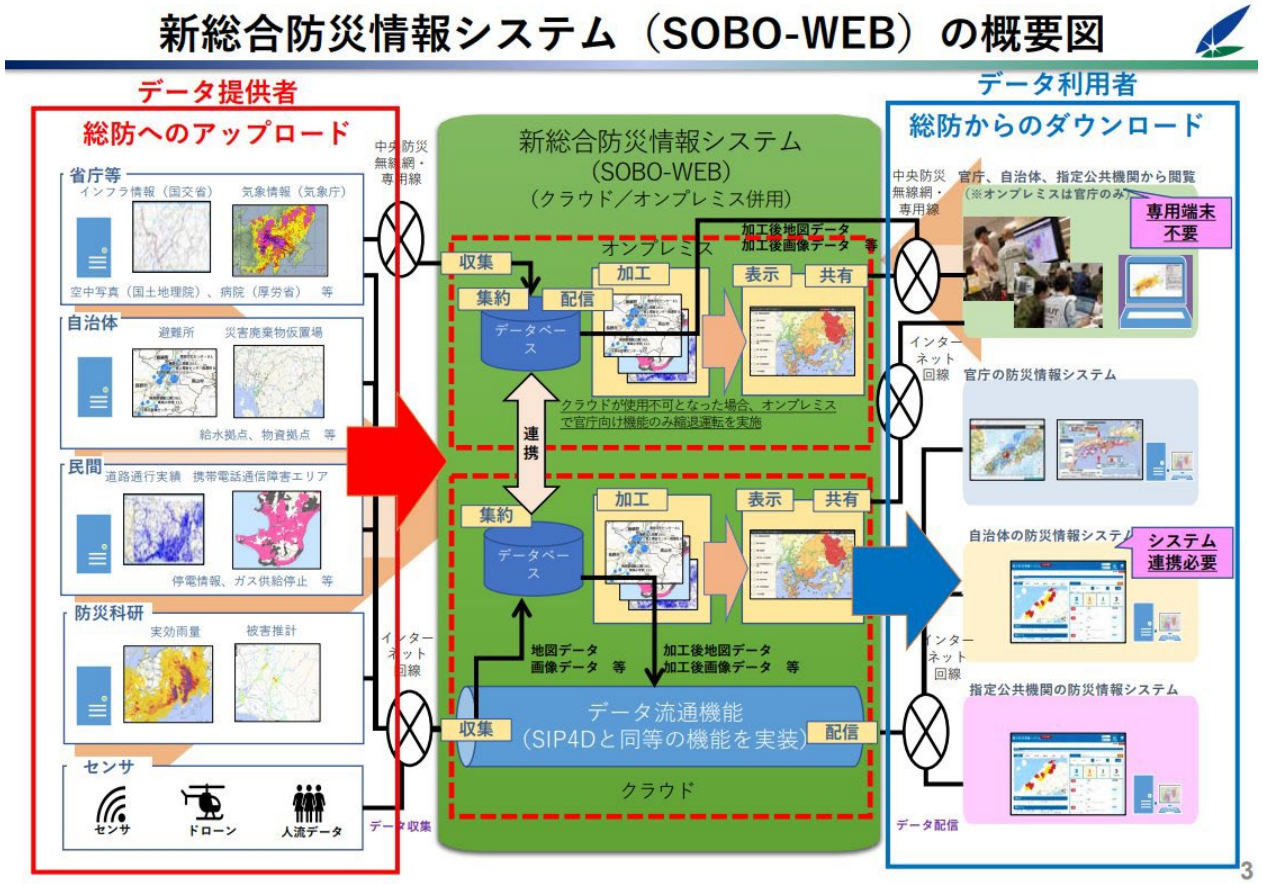
Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

＜参考＞SOBO-WEBとは

Panasonic

内閣府が運用する新総合防災情報システム「SOBO-WEB」

- 2024年度（令和6年度）より運用を開始
- 災害対応にあたる府省庁、自治体、指定公共機関等の状況共有を実現する防災情報システム
- 防災科学技術研究所が運用する**SIP4D（基盤的防災情報流通ネットワーク：別途スライド参照）**にて研究開発した災害対応機関間の情報共有の機能が採用されている
- **従来、民間企業との接続は実現していなかった**



https://www.bousai.go.jp/taisaku/soboweb/

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

＜参考＞SIP4Dとは(Shared Information Platform for Disaster Management)

Panasonic

災害対応機関間での情報共有を実現するネットワークシステム

- 防災科研が戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）にて開発を実施
- 「状況認識の統一」により効率的な災害対応を実現することを目的とする
- SIP4Dで研究開発された機能群が内閣府の**新総合防災情報システムで採用**されている

https://www.sip4d.jp/

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

＜参考＞EEIとは

Panasonic

- EEI（Essential Elements of Information）とは、内閣府が定めた、**災害対応時に連携して共有すべき特に重要な情報項目**
- 内閣府の**SOBO-WEB（新総合防災情報システム）**では、EEIに基づき情報整備を推進

災害対応基本共有情報（EEI）第１版 一覧1/2　内閣府

No.	情報項目（分類）	（細分）
01	被害推計	地震建物被害推計（市区町村毎）
		地震建物被害推計（都道府県毎）
		地震人的被害推計（市区町村毎）
		地震人的被害推計（都道府県毎）
		地震自力脱出困難者数推計（都道府県毎）
		津波建物被害推計（市区町村毎）
		津波人的被害推計（市区町村毎）
		プッシュ型支援物資必要量推計（都道府県毎）
02	被害	建物被害（市区町村毎）
		建物被害（都道府県別集計）
		人的被害（市区町村毎）
		人的被害（都道府県別集計）
03	災害発生箇所	土砂災害発生場所（場所毎）
		河川決壊箇所（箇所毎）
		災害発生場所（場所毎）
		被害範囲（領域）
04	孤立集落	孤立集落（集落毎）
05	道路関連	緊急輸送ルート
		緊急輸送道路
		通行止め情報（規制情報）
		災対法第76条の6に基づく区間指定
		緊急交通路の指定
		渋滞情報
		通行実績
06	鉄道関連	鉄道貨物駅被害

No.	情報項目（分類）	（細分）
07	港湾関連	広域応援部隊進出のために民間フェリーの利用を想定する区間
		港湾・施設等被害
08	航空関連	航空搬送拠点
		空港被害
09	活動拠点	広域進出拠点
		進出拠点
		DMAT陸路参集拠点
		DMAT空路参集拠点
		航空機用救助活動拠点
		活動拠点
		基幹的広域防災拠点
		広域防災拠点
		航空搬送拠点【再掲】
10	医療	災害拠点病院等
		航空搬送拠点【再掲】
11	物資	広域物資輸送拠点
		地域内輸送拠点
		支援物資輸送量情報
12	水道	断水情報（市区町村毎）
13	燃料	製油所・油槽所
		中核給油所
		航空機用救助活動拠点（候補地）に存する給油施設
		重要施設（燃料供給）
		住民拠点サービスステーション

災害対応基本共有情報（EEI）第１版 一覧２/２　内閣府

No.	情報項目（分類）	（細分）
14	電力	停電情報（市区町村毎）
		停電情報（領域）
		重要施設（電力供給）
15	ガス	都市ガス供給支障（領域毎）
		重要施設（都市ガス供給）
16	通信	通信支障（市区町村毎）
		通信支障（領域毎）
		重要施設（通信確保）
17	対策本部	政府現地対策本部
		都道府県災害対策本部
		市区町村災害対策本部
		政府原子力災害現地対策本部
18	重要施設	都道府県庁舎
		市区町村庁舎
		警察官署
		消防本部
		その他
19	廃棄物	災害廃棄物仮置場
20	要配慮者施設	介護施設・事業所等
		障害者支援施設等
		児童福祉施設等
21	避難所等	避難所
		避難所開設情報（都道府県別集計）
		避難場所

No.	情報項目（分類）	（細分）
22	避難指示等	避難指示等（発令毎）
		避難指示等（都道府県別集計）
		警戒区域（発令毎）
23	関係法律等	災害救助法適用市区町村
		被災者生活再建支援法適用市区町村
		激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律適用地方自治体
		特定非常災害の被害者の権利利益の保全等を図るための特別措置に関する法律適用地区
		総合法律支援法に基づく災害特例適用地区
		その他
24	被災状況動画像	衛星画像
		航空写真
		ドローン動画像等
		固定系カメラ画像
25	気象・地震・水位等情報	気象情報
		津波情報
		地震情報
		火山情報
		河川水位および危険度情報
		ダム水位および危険度情報
		ため池水位および危険度情報
		放射線モニタリングポスト情報

https://www.bousai.go.jp/kaigirep/kentokai/dataplatform/pdf/jitsumu/dai3kai/eei_v01.pdf

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

パナソニック デジタルについて

Powered by Digital

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

わたしたちについて

事業の競争力強化に向けて、働き方・ビジネスを変革
経営のスピードアップを目指します

MISSION

お客様、お取引先様、従業員に、
ITによる本質的な価値を提供、経営に直接貢献

ITを創る喜びを、
お客様の、便利と嬉しいへ
お取引先様との、シナジーへ
従業員の、キャリア形成と成長へ

VISION

私たちは、ビジネスに寄り添うCo-Creatorです。
お客様の「くらし」と「しごと」を共に考え、共に創ります。

私たちは、Innovatorです。
新しい技術、働き方で、スピーディに、想像の先を実現します。

私たちは、One Panasonicです。
認め合い、学び合い、高めあって、皆で成長し続けます。

VALUE

想像、その先を創造	お客様の夢をかなえるためにITの匠集団として、想像の先を創造する
速く、広く、深く、つなぐ	つなぐ価値を最大化：ビジネスとIT、人や組織、人のこころをつなぐ
データが語る、語らせる	答えのヒントはデータにある。データに語らせる
多様性、信頼、成長	多様性を認め合い、時にはぶつかり、高め合う
衆知・自律化集団	全員参加で衆知を集め、変革を常態化
主役は、「わたし」	変革の主役は「わたし」

PX
Panasonic Transformation

Panasonic

私たちは、“創ること”、“変えること”、“支えること”を通じ「くらし」と「しごと」を幸せにします。

PX
Panasonic Transformation

創る

多くの事業を持つパナソニックグループ内の実践で得た**新価値創出力**

- 社会課題解決への貢献
- 新たなビジネス創出
- 製品・サービス創り

変える

先進技術を活用した試行錯誤の中で得た**デジタル変革力**

- 生成AI活用
- 製造DX
- 業務DX

支える

パナソニックグループグローバル約21万人の事業・業務を支える**IT力**

- 基幹システム
- IT・OTセキュリティ
- ICT基盤構築・運用

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

Panasonic

5つの重点ソリューションとIT基盤構築・データ分析・AI技術で

お客様のビジネス課題を包括的に解決し、競争力を強化します

ERP・CRM

経営資源と顧客情報を一元管理し、業務最適化・顧客満足度向上・売上拡大を支援

製造DX

製造現場のデジタル化・高度化で、生産性向上や品質改善を継続的に支援

IT・OTセキュリティ

パナソニック内で実践したノウハウで、安全で信頼性の高いデジタル環境を支援

教育・施設DX

学習環境や各種施設の運営を ICTで最適化し、円滑な運用と学びの質の向上を支援

業務DX

デジタル化による特定の業務に特化したデサービスで、業務効率化および生産性向上を支援

データ分析・AI

ICT基盤構築・運用

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

私たちの強み

Panasonic

パナソニックのITを長年支えてきた実績

パナソニックグループのIT戦略企業として、グループ企業のIT化、DXを長年支援ており、製造業の業務理解とDX推進に自信があります

多様な業種へのソリューション導入実績

製造業だけでなく、自治体・学校や施設空間など様々な業種のお客様へ長年ソリューションを提供しており、伴走力に定評があります

ITインフラからAIまであらゆるソリューション提供

企業様のITインフラからアプリケーション導入、AIを活用したソリューションの提供や従業員用端末まで、ありとあらゆる領域でお客様に貢献

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

INDIGO RIVERついてもっと詳しく知りたい方へ

お気軽にお問い合わせください

お問い合わせ